

文化事業検討部会 検討経過報告

目標

目指すべき 10 年後の東京の姿
東京ならではの文化の創造・発信が活発に行われ、世界における文化面でのプレゼンスを確立している
東京から発信する文化を通じ、アジア等の様々な都市との交流が深まっている

諮問事項

「世界文化都市・東京を実現するための文化戦略」 「オリンピック文化プログラム」

世界文化都市・東京の実現に向けた文化事業（案）

< 重点的に取り組むべき 2 つの柱 >

a. 世界と文化を結ぶ：世界の主要都市と競い合える芸術文化の創造・発信

b. 子どもたちと文化を結ぶ：芸術文化を通じた子どもたちの育成

< 提案事業（例） >

既存の文化事業のあり方を見直し、創造・発信力の強化により東京の国際的地位を高める。また、既存のフェスティバル等と連携するとともに、都民の参加を促進していく。

演劇分野

新しい国際舞台芸術フェスティバル

とうきょうパフォーマンスキッズ

音楽分野

ミュージック ウィークス イン トーキョー

ミュージック&リズムス イン トーキョー

美術・映像分野

六本木アートナイト

恵比寿映像祭

伝統芸能分野

子ども伝統芸能ワークショップ

提言に基づいた文化プロジェクトの実施

オリンピックも視野に入れた文化プロジェクトの展開

< 文化プロジェクトの展開 >

フェスティバルを中核に若者や青少年教育に重点を置いた事業再編を行なう。
市民参画型のアートポイント・プロジェクト(“千の見世”)を展開する。

千の見世

市民やクリエイターの多様な取組を実現するため、都内の公共空間や学校など多数の地点でアートポイント(“見世”)を展開する。

“見世”が東京の文化を変える

市民とアーティストやクリエイターの協働で、東京は「アート・オブ・ライフ」の都市に。

“見世”が学校を変える

小学校の校庭で子供向けのアートワークショップ、大人向けのミニライブなどを実施。

東京じゅうに小さな“見世”が多彩な文化活動を提供し、百花繚乱に綾なす日本の文化状況を可視化。来訪者が食を共にしつつ対話を織りなす「千の結び目」となり、無数の文化的融合を生む。

“見世”がまちと建築を変える

公共施設のリストを作成し、これらを“見世”にリノベーション・運営するプランを公募。

“見世”が商店街とビジネスを変える

起業家志望者たちの実践の場として、クリエイティブ産業の育成システムとなる。

総合政策としての文化政策を反映するパイロット・プロジェクトを実施
例) 教育、まちづくり、産業、福祉